

ひたちなか市議会だより

新たな議会が始まりました

～さらなる議会活性化に取り組みます～



もくじ

No.108 令和元年12月10日

正副議長あいさつ	2
会派紹介	2
委員会構成	5
その他の議会人事	6
編集手帳	6

改選後初の議会を開催 正副議長など議会人事が決定

10月27日に行われた市議会議員選挙によって新しく25人の議員が選ばれました。議長、副議長の選挙をはじめ、各常任委員会などの構成も決まり、市民の負託を受けた4年間の議会活動がスタートしました。

なお、議長選挙の後、議員提案による市議会委員会条例の一部改正議案を提出し、原案のとおり可決しました。次に、市長から専決処分報告2件が報告された後、監査委員の選任に同意し、閉会しました。

正副議長あいさつ



議長
鈴木 一成

なにとぞよろしく
お願い申し上げます



副議長
三瓶 武

市民により身近な
議会を目指して

日頃より市民の皆さま方におかれましては、ひたちなか市議会に対しご理解とご協力をいただきまして心より深く感謝を申し上げます。

このたび、令和元年第4回臨時会において、議員各位のご推挙を頂戴してひたちなか市議会議長に就任させていただきましたことになりました。誠に身に余る光栄でありますと共に身の引き締まる思いでございます。公正かつ円滑な議会運営はもろろのこと、市民の皆さまの声をどのように市政に反映していくかを常に考え、日々の職責の重さを痛感しながら市民の皆さまの負託に応えるべく精一杯議会活動に邁進していく所存でございます。

今後とも皆さま方には、格段のご指導とご協力を賜りますよう何卒よろしくお願いを申し上げます。

このたび、議員の皆様からご推挙を賜り、副議長に就任いたしました。重責を担うことに身の引き締まる思いであります。

人口減少・少子高齢化の波が確実に本市にも押し寄せている中で、様々な分野で、地域の魅力を活かした取り組みが必要です。

また、これまで取り組んできた議会改革をもとに、議会情報の公開など、市民の皆様により身近な議会を目指してまいります。

ひたちなか市は、誕生25周年を迎えました。さらなる本市の発展に向けて、行政と議会が両輪となり、魅力あるまちづくりを進めるために、微力ながら円滑な議会運営に努めてまいります。

皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

会派構成が
決まり
抱負を語る
4会派3諸派

未来ひたちなか
子育て世代に選ばれる
市を目指して

令和最初のひたちなか市議会選挙後の会派構成において、7人の議員団となりました。

各議員はそれぞれの希望と信念を心に持ち、個人の特色を生かし今後4年間を邁進していきます。

「安全・安心の確保」「都市基盤の整備」「ひたちなか地区への企業誘致の推進」「農産物のブランド化」「ひたちなか大洗リゾート構想の推進」「暮らしを支える社会づくり」等々、目的意識を明確にしてまいります。

市民の皆様からの声を議会

と行政に届け、諸課題の解決を目指し信頼される議会活動を進めて行く所存でございます。

皆様のより一層のご支援、ご指導をお願い申し上げます。



大内 健寿



清水 健司



代表 打越 浩



大谷 隆



鈴木 一成



海野 富男



弓削 仁一

(写真の並びは、会派名簿順。以下同じ)

新生ふるさと21

信頼される議会を
目指して

当会派はふるさと21を前身としています。会派ふるさと21は、ふるさとを思う気持ちで大事に四期16年議会活動をしてまいりました。起(1)承(2)転(3)結(4)で一回国は完結しましたが、更に進化する会派として「新生ふるさと21」として7人で出発しました。

住民を主体とする市政発展のために、市政にかかわる政策を議論し合意形成を図り議会活動を行うことを目標にします。

また、開かれた議会を目指し、広報広聴を今まで以上に重要視して、自己研鑽に努め、そして一歩一歩休まず素晴らしいあしたに向かって市民の皆様とともに前進し続けたいと思っています。



鈴木 道生



萩原 健



井坂 涼子



代表 樋之口 英嗣



清水 立雄



薄井 宏安



大内 聖仁

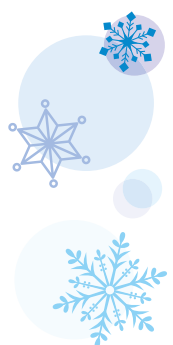
日新クラブ

市民目線で
魅力あるまちづくり

日新クラブは、「日々これ新たななり」をモットーに昭和33年に結成され、以来「市民の目線」「生活者起点」を原点として、皆様の声を市政につなげる活動に取り組んでまいりました。

少子高齢化、人口減少、自然災害が多発するなか、日新クラブ議員団は、安心して暮らせるまちづくり、産業の活性化、財政基盤の強化、子育て環境の充実、福祉の向上、災害における防災・減災体制の強化に、全力で取り組んでまいります。そのための政策提言を積極的に行い市民の負託に応えてまいります。

今後とも市の発展、魅力あるまちづくりのため、皆様のご支援とご指導をよろしくお願い致します。



武藤 猛



三瓶 武



北原 祐二



代表 深谷 寿一

公明党議員団

「小さな声を聴く力」で生活者に密着

市民の皆様には、日頃より一方ならぬご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

公明党議員団は、現場を歩き、皆様の声を真剣に受け止め、生活者の視点に立つて様々な政策を実現してまいりました。

これからも、「小さな声を大切に」生活者優先の市政を目指し、すべての人が希望と生きがいをもって暮らせる社会の実現と、ひたひたなか市に住んで良かったと言えるまちづくりのため、安心・安全、少子高齢化対策、社会基盤整備など、山積する課題に真正面から取り組んでまいります。



代表 雨澤 正

なお一層のご指導ご支援を宜しくお願い致します。



山田 恵子



加藤 恭子

諸派 (日本共産党)

安心して暮らし続けられるまちに

東海第二原発の再稼働ストップ、くらし・福祉・子育て最優先の公約実現に向け、引き続き全力で頑張ります。社会保障のためだといって消費税が増税される一方で、むしろ社会保障の負担は増え

続け、日々の暮らしはますます深刻です。さらに平和を脅かす憲法改悪の策動。ひたひたなか市が、安倍政権による悪政から市民のいのちと暮らしを守る防波堤の役割を果たすことが強く求められています。

私たち日本共産党市議員は、「誰もが安心して暮らし続けられるあたたかい市政」を目指してみなさまの切実な声をしっかり議会へ届けてまいります。



山形 由美子



宇田 貴子

諸派 (社民党)

人にやさしいまちづくりを進める

私は、皆様の人権が尊重され、安心・安全のまちをめざし、「人にやさしいまちづくり」を掲げていきます。

第一には、まちの経済が元気になることをめざします。第二は「少子高齢化」といわれて久しいですが、高齢者の年金生活、医療と介護の連携、公共交通の充実など、健康でいきいきと暮らせる地

域社会づくりを進めます。また、子ども達の夢が広がる教育、いじめや不登校のない学校・環境づくりが必要と考えます。
第三には、豪雨・洪水などの規模が年々強大となっており、防災・減災の体制強化が急務となっています。東海第二原発については原子力防災、広域避難計画、温暖化対策の観点からも再稼働に反対してまいります。



井坂 章

諸派 (立憲民主党)

熟議の議会に

今期の市議会に課された最大のテーマは、東海第二原発の再稼働問題であると思います。日本原電が再稼働の意思を明確にし、2021年3月完成を目的に安全対策工事を進めようとしている今、原電と周辺5市1村との協議会に参加している本市は、好むと好まざるにかかわらず、再稼働の可否について、その判断を問

われます。その際、地方自治の二元代表制の一翼を担う意思決定機関として、市議会は大変大きな責任を負います。市民の負託に応え、市民の納得が得られるよう、賛成派も反対派も、いたずらに对立を煽るのではなく、胸襟を開いて建設的な論議を十分に尽くして行ければ、と考えています。



大久保 清美

各委員会などの構成が決まりました

◎委員長
○副委員長

総務生活委員会

企画部、総務部、市民生活部、出納課、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会に属さない事項について、市民とともに知恵と力を合わせたまちづくりや市民の安全安心な暮らしを守るまちづくりを推進するため、議案の審査や施策の調査などを行います。

文教福祉委員会

福祉部および教育委員会の所管に属する事項について、生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくりと子育て世代に選ばれるまちづくりを目指して福祉・教育の充実を推進するため、議案の審査や施策の調査などを行います。

経済建設委員会

経済環境部、農業委員会、建設部、都市整備部および水道事業所の所管に属する事項について、地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくりと快適で機能的な住みよいまちづくりを推進するため、議案の審査や施策の調査などを行います。

予算委員会

一会計年度の収入・支出の見積もりである歳入歳出予算について、各会計の当初予算および補正予算を審査し、効果的・効率的な行政運営などの均衡抑制を図ります。

決算委員会

一会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、会計ごとにその内容を調査・確認した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうか審査します。



(前列右から)
山田 恵子
○大内 聖仁
◎武藤 猛
山形由美子
(後列右から)
弓削 仁一
北原 祐二
清水 健司
大久保清美



(前列右から)
清水 立雄
○深谷 寿一
◎加藤 恭子
薄井 宏安
(後列右から)
宇田 貴子
海野 富男
大谷 隆
鈴木 道生



(前列右から)
打越 浩
○大内 健寿
◎樋之口英嗣
井坂 章
(後列右から)
萩原 健
井坂 涼子
三瓶 武
雨澤 正

◎井坂 章
○弓削 仁一
井坂 涼子
萩原 健
宇田 貴子
大内 聖仁
大内 聖仁
加藤 恭子
三瓶 武
清水 立雄
武藤 猛
打越 浩

◎薄井 宏安
○清水 健司
山形由美子
山田 恵子
北原 祐二
大久保清美
鈴木 道生
雨澤 正
深谷 寿一
海野 富男
大谷 隆
樋之口英嗣

議会広報委員会

開かれた議会を目指し、市民に親しまれ、理解される議会広報を推進します。

◎北原 祐二
◎山田 恵子
萩原 健
宇田 貴子
清水 健司
弓削 仁一
大内 聖仁

議会運営委員会

議会運営を円滑に行うため、議会運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例などに関する事項、議長の諮問に関する事項について協議・調査します。

◎大谷 隆
◎鈴木 道生
加藤 恭子
深谷 寿一
清水 立雄
打越 浩

広域連合議会議員

広域連合議会の議員が、次のとおり選出されました。

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員
三瓶 武

一部事務組合議会議員

一部事務組合議会の議員が、次のとおり選出されました。

茨城北農業共済事務組合議会議員
海野 富男
樋之口英嗣

ひたちなか・東海広域事務組合議会議員
北原 祐二
清水 健司
大内 聖仁
加藤 恭子
深谷 寿一
井坂 章

◎委員長 ○副委員長



議会選出監査委員に 雨澤正氏を選任同意



監査委員
雨澤 正

ひたちなか市監査委員の選任については、市議会議員から選任していた佐藤良元氏が去る10月31日をもって任期満了となり退任されたことに伴い、後任の委員として雨澤正氏を選任することに同意しました。
同氏は、平成23年11月、ひたちなか市議会議員に就任して現在に至っており、その間、議会広報委員会委員長、総務生活委員会副委員長などを歴任されています。

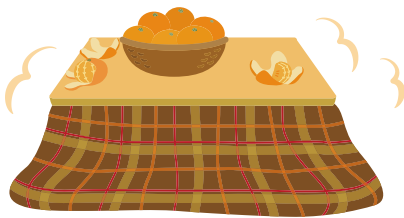
用語解説

会派と諸派

会派とは、議会内において、市政に対して同じ考えや意見を持っている者が効果的に市政に反映させるため結成した集団（同志的集合体）のことをいいます。

ひたちなか市議会においては、3人以上を会派としており、2人以下は諸派として取り扱っています。

会派は、代表質問をすることができたり、委員会の人事などが所属議員数によって割り当てられるなどの利点があります。



編集手帳

10月27日執行のひたちなか市議会議員一般選挙を経て11月1日から新たな議会体制がスタートしました。11月18日には、新たに選任された7名の議会広報委員による委員会を開催し、議会広報活動について協議しました。当委員会では、市議会が市民の皆さまにより身近なものと感じていただけるよう、新たな議会の活動内容をわかりやすく正確にお伝えしてまいります。今後とも、皆さまにより親しまれ、読みやすい議会だよりの発行や情報量の豊富なホームページづくりなどに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。皆さまのご意見、ご感想もお待ちしております。



再生紙と植物油インキを使用しています。